



福祉人材の確保などへ支援求める

町社会福祉協議会が町に要望

町社会福祉協議会(寺崎敏子会長)は12月1日、町に令和5年度予算などに関する要望を行い、福祉人材の確保に向けた支援など協力を求めました。

同日は寺崎会長が役場を訪れ、青木町長に要望書を手渡しました。要望内容は、福祉人材の確保の支援のほか、社会福祉活動専門員の設置費補助など6項目。要望に当たり、近年の自然災害の激甚化や広域化に伴い、福祉支援体制の強化などが課題だとしています。



昆野央実さん(フタバ平泉)が3位

第22回全国障害者スポーツ大会4×100mリレー

株式会社フタバ平泉に勤務する昆野央実さん(19)＝一関市狐禅寺＝は、令和4年10月に栃木県で開かれた第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に出場し、4×100mリレーで3位に入りました。

昆野さんは高校入学後に恩師の勧めで陸上を始めました。全国大会出場を目指して短距離の練習に取り組んできたといい「みんなで頑張って3位となり、うれしかった」と振り返りました。



尾川タカネさんが100歳迎える

青木町長も駆け付けて祝福

平泉字片岡の特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘で生活する尾川タカネさんは12月1日、100歳の誕生日を迎えました。家族や施設関係者の祝福を受け、青木町長から花束と記念品を受け取った尾川さんは「ありがとう」と元気に応じました。

尾川さんは長島地区生まれ。結婚して4人の子どもを育て、孫11人、ひ孫6人に恵まれました。長男の浩一さんは「100歳まで頑張ってくれた」と語りました。



防犯灯10基と取付工事一式の寄贈を受ける

東北電力ネットワークとユアテックから

町は11月28日、東北電力ネットワーク株式会社と株式会社ユアテックから、LED防犯灯10基とその取り付け工事一式の寄贈を受けました。

同日は東北電力ネットワーク一関電力センターの佐藤利幸所長＝写真中央＝、ユアテック一関営業所の後藤桂司所長＝同右＝が役場を訪れ、青木町長に目録を贈りました。青木町長は両社の地域貢献活動に謝意を示し「行政区から要望があった箇所に設置したい」と話しました。

観光客の誘致に向けた支援を

平泉観光協会が町に要望書

平泉観光協会(千葉力男会長)は12月2日、町に令和5年度予算要望を行い、協会運営の推進と観光客誘致の強化などに向けて協力を要請しました。

同日は千葉会長らが役場を訪問。千葉会長が青木町長に要望書を手渡し、協会運営費のほか、藤原まつりの開催事業費の支援などを求めました。

同協会は来年度、特に国内旅行の回帰に向けた活動を精力的に進めることにしています。



災害時も行政サービス継続を

町が岩手三菱自、三菱自と災害協定を締結

町と岩手三菱自動車販売株式会社、三菱自動車工業株式会社は11月28日、「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結しました。

協定は、災害発生時に町が行政サービス継続のため、両社からプラグインハイブリッド自動車(PHEV)の貸与を受けるものです。車両1台から一戸建て住宅の最大12日間分の電力を供給でき、青木町長は「町民の安全安心のため、支援を頂き感謝する」と語りました。



子どもたちに笑顔を

フジテック岩手が町内児童に招待券を寄贈

自動車や農業機械の販売などを手掛ける一関市藤沢町の株式会社フジテック岩手は12月2日、同市内の岩手サファリパークと狢鼻溪の無料招待券(平泉、長島両小学校の全児童337人分)を町に寄贈しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、児童に笑顔になってもらおうと企画。同社の千葉登美夫代表取締役会長から招待券を受け取った青木町長は「子どもたちの活動や楽しみが広がる」と感謝を伝えました。



事故のない地域づくりへ決意新た

令和4年度交通安全運動推進町民大会

令和4年度交通安全運動推進町民大会は11月30日、町学習交流施設「エピカ」で開かれ、出席者約70人が交通事故のない地域づくりへの決意を新たにしました。

令和3年10月から4年9月までを前・後期に分け実施した行政区対抗交通安全コンクールの上位3行政区を表彰。1位は前後期ともに18区で、表彰状を受け取った浅利陽子さんは「みんなが協力し合い活動している。事故をなくすため継続したい」と意気込みました。